

『神奈川県がん・生殖医療ネットワーク（KanaOF-Net）設立講演会』

【日時】 令和2年1月31日（金）17:00-19:50（予定）

【場所】 TKP 横浜駅西口カンファレンスセンター ホールA

神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-24-1 横浜谷川ビルディング ANNEX B2F

【次第】 敬称略

司会進行：鈴木直

17:00-17:20 挨拶

濱卓至（神奈川県健康医療局保健医療部がん・疾病対策課 課長）

金森平和（神奈川県立がんセンター 副院長、神奈川県がん診療連携協議会 会長）

鈴木直（聖マリアンナ医科大学産婦人科学 教授）

17:20-17:40 本邦における小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療の実情と課題

鈴木直（聖マリアンナ医科大学産婦人科学 教授）

17:40-18:10 滋賀県におけるがん・生殖医療の現状—滋賀県がん・生殖医療ネットワーク

木村文則（滋賀医科大学医学部産科学婦人科学 准教授）

18:10-18:40 京都府におけるがん・生殖医療の現状—京都がんと生殖医療ネットワーク

堀江昭史（京都大学医学部婦人科学産科学教室 講師）

18:40-19:10 栃木県におけるがん・生殖医療の現状—栃木県がん・生殖医療ネットワーク：

鈴木達也（自治医科大学産科婦人科学 准教授）

19:10-19:30 神奈川県の取り組み（聖マリアンナ医科大学）：

高江正道（聖マリアンナ医科大学産婦人科学 講師）

19:30-19:50 神奈川県の取り組み（横浜市立大学）：

湯村寧（横浜市立大学付属市民総合医療センター 准教授）

19:50 閉会

【主催】

- 神奈川県がん・生殖医療ネットワーク (KanaOF-Net)
- 神奈川県健康医療局保健医療部がん・疾病対策課
- 神奈川県がん診療連携協議会
- 令和元年度 厚生労働科学研究補助金(がん政策研究事業)「がん・生殖医療連携ネットワークの全国展開と小児・AYA 世代がん患者に対する妊娠性温存の診療体制の均てん化にむけた臨床研究ーがん医療の充実を志向して (19EA1015)」研究代表者 鈴木直

【KanaOF-Net 関係者】敬称略

- ◆ 神奈川県健康医療局保健医療部がん・疾病対策課長：濱卓至
- ◆ 神奈川県健康医療局保健医療部がん・疾病対策課：白沢薰
- ◆ 神奈川県立がんセンター副院長：金森平和（神奈川県がん診療連携協議会）
- ◆ 横浜市立大学医学部産婦人科教授：宮城悦子
- ◆ 横浜市立大学医学部産婦人科助教：石寺由美
- ◆ 横浜市立大学医学部泌尿器科教授：矢尾正祐
- ◆ 横浜市立大学附属市民総合医療センター生殖医療センター准教授：湯村寧
- ◆ 横浜市立大学附属市民総合医療センター生殖医療センター准教授：村瀬真理子
- ◆ 横浜市立大学附属市民総合医療センター婦人科教授：榊原秀也
- ◆ 聖マリアンナ医科大学腎尿器外科学教授：菊地栄次
- ◆ 聖マリアンナ医科大学産婦人科学教授：鈴木直
- ◆ 聖マリアンナ医科大学産婦人科学講師：高江正道
- ◆ 聖マリアンナ医科大学産婦人科学助教：川原泰

神奈川県がん・生殖医療ネットワーク KanaOF-Netがスタートします

KanaOF-Netとは

神奈川県がん・生殖医療ネットワーク (Kanagawa Oncofertility Network)の略称です。

【設立の経緯】

がん治療の進歩により小児・AYA世代がん患者さんの生存率は著しく向上しています。その反面、手術療法、化学療法そして放射線治療などによって生殖機能が低下し、将来に自身の子供を望めなくなる事態が問題視されております。

この問題に対して神奈川県では、がん治療施設と生殖医療機関（横浜市大、聖マリアンナ医大）が個々に連携して精子、卵子、胚そして卵巣組織凍結などを実施して参りました。今回、県内のがん診療連携拠点病院などのがん治療医の先生方と、より迅速かつ円滑な連携の構築を志向して、さらに地域内でのスムーズながん・生殖医療の提供を目指して、個々の連携を神奈川県全体で進めるべく、神奈川県がん・生殖ネットワーク設立に到りました。

【設立の目的】

神奈川県内におけるがん治療と生殖医療に従事するヘルスケアプロバイダーが、互いに連携して小児・AYA世代のがん患者さんやその家族、またがんサバイバーに対して、妊娠性温存や妊娠・出産に関する正しい情報提供し、妊娠性温存療法（精子・卵子・胚・卵巣温存など）をスムーズに実施するためのネットワークを構築し、知識や情報の交換および医療の進歩に寄与することを目的としています。

【連携模式図】

